

令和7年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	2	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1 クマ対策について				<p>令和6年9月定例会の一般質問で「クマ対策について」質問した。その時点では、目撃情報は例年より増えているもののまだ被害もなく、市民も行政も、そして私たち議会もそれほどの緊迫感も持っていなかったように感じる。しかし、本年度においては目撃情報の急激な増加とともに出沒箇所が市民の生活圏に入ってきている状況である。このまま行くと人的被害が発生する可能性も非常に高いのではないかと思えるようになってきた。この状況に対して改めて市の対応について伺う。</p> <p>(1) 本年度のクマの目撃情報及び被害について。</p> <p>(2) 内房小学校ではクマの足跡が発見され、また、近辺でも目撃情報が発生している。内房小学校で現在行っている対策について。</p> <p>(3) 今後、市内各小中学校においても対策が必要ではないか。</p> <p>(4) 本年は登山中の遭遇や被害も相次いでいる。当市の登山道やハイキングコースの安全性について伺う。また、何か対策は講じているか。</p> <p>(5) 市は今年度中に2基の箱わなを購入し、設置する考えを示している。しかし、現在市内でも広範囲で目撃情報が発生しているが、今年度中に2基の設置で十分か。</p> <p>(6) 法律が改正されクマなどが市街地に出沒した際、市長の判断で猟銃を使った駆除が可能になった。しかし、実際に市街地で駆除を行うには様々な条件があり、難しい部分も多いと聞く。いざ出沒したときは猟友会に市長から依頼することとなるが、猟友会との連携はしっかりとできているか。また、警察も駆除することができるようになったが、警察との連携はどのようになっているか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2 小中学校のPTAについて				<p>現在PTAの存在意義について疑問を感じる声が大きくなってきている。各小中学校のPTA、通称単Pから始まり、その単Pの市内における協議体である市PTA連絡協議会、通称市Pが存在しており、さらに県PTA連絡協議会、通称県P、日本PTA全国協議会、通称日Pと上位組織につながっている。学校、市教育委員会との関係及びPTAの在り方について市の見解を伺う。</p> <p>(1) 先日某市PTA連絡協議会の会長が、現職時にその市P連の役員2人から詐欺を行った疑いで逮捕されたと新聞報道があった。その中で現職市P連会長という肩書きが信頼関係を築く要素の一つになっていた可能性があるという報道が報じられている。このことについて教育委員会としての見解は。</p> <p>(2) PTAの存在意義についてどう考えるか。</p> <p>(3) PTAと行政・教育委員会との関係について。</p> <p>(4) 学校及び市教育委員会はPTAに何を期待しているのか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長

令和7年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	2	議席 番号	19	氏名	植 松 健 一 議員	2 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
				<p>(5) 今後、学校についてはコミュニティースクール化により学校運営について学校運営協議会が設置され、地域と共に学校運営を行っていくという方向にある。そのような中、PTAの存在意義は薄くなってくると感じるがいかがか。</p> <p>(6) 現在、全国的に見ると市P連を廃止したり県P、日Pから脱退したり、また、今までの日本PTA全国協議会とは違う、全国PTA連絡協議会という組織が立ち上がったりしており、PTAの在り方が見直され始めている。市教育委員会として校長会も含め、今後のPTAの在り方について単P、市Pと話し合いを持つべきときではないかと感じるがいかがか。</p>		